

## 2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2498 URL <https://www.oriconhd.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 秀則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括本部長 (氏名) 森田 信彦 TEL 03-6311-6641  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年9月期第3四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	49,853	5.7	2,751	17.3	3,044	35.0	1,986	42.5
2020年9月期第3四半期	47,161	6.4	2,345	13.1	2,254	17.1	1,394	29.3

（注）包括利益 2021年9月期第3四半期 2,070百万円（59.7%） 2020年9月期第3四半期 1,296百万円（30.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	342.42	—
2020年9月期第3四半期	245.37	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	51,656	14,013	27.1
2020年9月期	47,706	12,011	25.2

（参考）自己資本 2021年9月期第3四半期 13,988百万円 2020年9月期 12,011百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	42.50	42.50
2021年9月期	—	0.00	—		
2021年9月期（予想）				42.50	42.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,500	8.9	3,000	10.8	3,200	26.1	2,050	33.5	353.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	6,080,920株	2020年9月期	6,080,920株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	269,283株	2020年9月期	330,240株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	5,801,381株	2020年9月期3Q	5,681,623株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(連結の範囲の変更) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(損益計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内の経済は厳しい状況となっております。また、先行きにつきましても、徐々に回復の兆しがみられるもののその回復は鈍く、海外においても米中対立の継続や米国新政権政策の影響等、不透明感の強く残る状況となっております。

このような状況の中で、当社グループでは重点的に取り組む事業を国内市場5つ(インフラ整備・保全(道路系)、インフラ整備・保全(水系)、防災、交通、地方創生)、海外市場5つ(民間事業、スマートシティ開発事業、O&M事業、BIM事業、事業投資)に定め、各市場で推進しております。

市場別の受注状況は、国内市場におきましては、2020年12月閣議決定の「国土強靱化5か年加速化対策」などにより、引き続き防災・減災関連のハード・ソフト対策業務、道路・河川・港湾等の維持管理業務の受注が堅調に推移しており、当第3四半期連結累計期間における国内市場の受注高は366億34百万円(前年同四半期比16.6%増)となりました。

一方、海外市場におきましては、開発途上国でのインフラ整備の需要は依然旺盛であり、当第3四半期連結累計期間における海外市場の受注高は当第3四半期連結累計期間の売上高165億60百万円を上回る207億13百万円(前年同四半期比57.0%減)となりました。なお、前年第1四半期においては過去最高の超大型案件を受注したことから、当第3四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期に対して減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における受注高は573億48百万円(前年同四半期比27.9%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高及び営業損益につきましては、国内市場が堅調に推移しており、また、海外市場においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う海外での外出禁止や渡航禁止等の措置の影響があるものの、その影響は回復傾向にあることから、売上高は498億53百万円(前年同四半期比5.7%増)、営業利益は27億51百万円(同17.3%増)となりました。経常利益は為替差益2億75百万円を計上した影響等により30億44百万円(同35.0%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億86百万円(同42.5%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (インフラ・マネジメントサービス事業)

インフラ・マネジメントサービス事業の売上高は、408億53百万円(前年同四半期比8.4%増)となりました。営業利益は23億30百万円(同17.7%増)となっております。

#### (環境マネジメント事業)

環境マネジメント事業の売上高は、79億62百万円(前年同四半期比7.4%減)となりました。営業利益は、2億27百万円(同6.9%減)となっております。

#### (その他事業)

その他事業の売上高は、15億円(前年同四半期比1.1%増)となりました。営業利益は1億57百万円(同29.2%増)となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資金調達の状況)

当社グループの業務の工期は3月に集中しており、例年納品後の4月、5月に売上代金の回収が集中するため、3月まで運転資金の需要が大きく、借入残高も3月まで段階的に増加する傾向にあります。この資金需要に備えるためコミットメントライン契約のほか当座借越契約及び短期借入契約の締結により借入枠を確保しております。

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は516億56百万円と、前連結会計年度末に比べ39億50百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加58億1百万円及び受取手形及び売掛金の減少28億77百万円によるものであります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は376億43百万円と、前連結会計年度末に比べ19億48百万円増加いたしました。これは主に、未成業務受入金の増加26億50百万円によるものであります。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は140億13百万円と、前連結会計年度末に比べ20億1百万円増加いたしました。これは主に、当第3四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益を計上し、利益剰余金が増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、国内市場におきまして、2020年12月閣議決定の「国土強靱化5か年加速化対策」などによるインフラ投資予算の増加などにより、引き続き防災・減災関連のハード・ソフト対策業務、道路・河川・港湾等の維持管理業務の受注が堅調に推移しております。

また、海外市場におきまして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う海外での外出禁止や渡航禁止等の措置の影響があるものの、その影響は回復傾向にあります。

これらの結果、売上高が予想を上回り、営業利益も増加する見込みとなりました。

また、為替相場の変動による為替差益の発生などにより、営業外損益が予想を上回り、経常利益が増加する見込みとなりました。

これらの要因に伴って、親会社株主に帰属する当期純利益が増加する見込みとなりましたので、2020年11月13日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2021年8月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,124,495	13,926,332
受取手形及び売掛金	11,179,270	8,301,508
商品	15,219	16,216
未成業務支出金	12,636,406	13,969,077
前払費用	5,537,818	4,665,011
その他	2,558,941	2,285,954
貸倒引当金	△79,662	△49,012
流動資産合計	39,972,489	43,115,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	605,779	570,673
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	879,106	960,738
土地	592,025	592,025
その他(純額)	142,953	106,719
有形固定資産合計	2,219,864	2,230,156
無形固定資産		
ソフトウェア	438,602	385,941
のれん	140,226	127,080
その他	251,675	596,882
無形固定資産合計	830,504	1,109,904
投資その他の資産		
投資有価証券	568,745	986,260
関係会社株式	633,085	606,662
長期貸付金	185,174	148,102
差入保証金	1,195,871	1,159,515
繰延税金資産	964,218	1,225,958
破産更生債権等	36,918	36,918
退職給付に係る資産	681,601	712,574
その他	566,704	474,149
貸倒引当金	△148,803	△148,803
投資その他の資産合計	4,683,516	5,201,336
固定資産合計	7,733,885	8,541,398
資産合計	47,706,375	51,656,488

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,300,543	4,874,276
短期借入金	434,212	376,359
未払法人税等	749,980	893,759
未成業務受入金	21,778,712	24,429,019
賞与引当金	1,396,228	2,098,615
受注損失引当金	623,038	1,055,645
その他	3,568,671	2,367,703
流動負債合計	33,851,385	36,095,378
固定負債		
長期借入金	726,510	460,328
退職給付に係る負債	237,154	258,432
役員退職慰労引当金	577,550	596,273
繰延税金負債	135,450	169,766
その他	166,541	63,099
固定負債合計	1,843,208	1,547,901
負債合計	35,694,594	37,643,279
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	727,929	727,929
資本剰余金	1,562,483	1,562,483
利益剰余金	10,378,778	12,118,332
自己株式	△724,317	△562,989
株主資本合計	11,944,873	13,845,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	156,513	241,079
為替換算調整勘定	△54,842	△35,670
退職給付に係る調整累計額	△34,762	△62,167
その他の包括利益累計額合計	66,907	143,241
非支配株主持分	—	24,210
純資産合計	12,011,781	14,013,208
負債純資産合計	47,706,375	51,656,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	※1 47,161,755	※1 49,853,867
売上原価	36,427,402	38,625,454
売上総利益	10,734,352	11,228,412
販売費及び一般管理費	8,388,829	8,476,720
営業利益	2,345,522	2,751,691
営業外収益		
受取利息	17,515	27,915
受取配当金	29,218	32,992
保険配当金	47,502	27,197
為替差益	—	275,699
その他	25,737	45,103
営業外収益合計	119,973	408,908
営業外費用		
支払利息	24,435	17,932
支払手数料	1,539	25,624
為替差損	155,341	—
持分法による投資損失	—	36,924
その他	29,728	35,926
営業外費用合計	211,044	116,407
経常利益	2,254,451	3,044,192
特別利益		
助成金収入	※2 93,727	※2 113,620
特別利益合計	93,727	113,620
特別損失		
臨時損失	※3 214,510	※3 250,377
特別損失合計	214,510	250,377
税金等調整前四半期純利益	2,133,669	2,907,434
法人税、住民税及び事業税	1,002,933	1,163,345
法人税等調整額	△263,367	△250,488
法人税等合計	739,566	912,856
四半期純利益	1,394,102	1,994,578
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	8,063
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,394,102	1,986,514



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1,394,102	1,994,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,810	84,565
為替換算調整勘定	△37,916	19,172
退職給付に係る調整額	△21,823	△27,404
その他の包括利益合計	△97,550	76,333
四半期包括利益	1,296,552	2,070,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,296,552	2,058,426
非支配株主に係る四半期包括利益	—	12,485

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したOriental Consultants Philippines, Inc.を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員持株会ESOP信託)

当社は、2020年5月25日開催の取締役会において、当社グループの持株会を活性化して当社グループ社員の安定的な財産形成を促進すること、並びに、当社グループ社員の会社経営への参画意識の向上と業績向上へのインセンティブ付与により、当社の中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として従業員持株会信託型ESOPの再導入を決議いたしました。

(1) 取引の概要

従業員持株会信託型ESOP（以下「本制度」といいます）は、福利厚生の一環として、当社グループの持株会を活性化して当社グループ社員の安定的な財産形成を促進すること、並びに当社グループ社員の会社経営への参画意識の向上と業績向上へのインセンティブ付与により、当社の中長期的な企業価値の向上を図ることを目的に導入したものであります。

当社は、従業員持株会の会員のうち、一定の受益者要件を充足する者を受益者とする「従業員持株会信託（他益信託）」（以下「持株会信託」といいます）を設定しております。

従業員持株会が信託契約後2年間にわたり取得すると見込まれる数の当社株式を借入により調達した資金で一括して取得しております。

本制度導入後、従業員持株会による当社株式の取得は持株会信託より行っております。

従業員持株会による当社株式の取得を通じ、持株会信託に売却益相当額が累積した場合には、これを残余財産として受益者要件を充足する従業員持株会の会員に対して分配いたします。一方、当社株価の下落により持株会信託が借入債務を完済できなかった場合には、当社が借入先銀行に対して残存債務を弁済いたします。その際、従業員持株会の会員がその負担を負うことはありません。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度595,452千円、234,800株、当第3四半期連結会計期間末197,808千円、78,000株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度629,821千円、当第3四半期連結会計期間400,886千円

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて）に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(損益計算書に関する注記)

※1 前第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)及び、当第3四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年6月30日)

当社グループの売上高は、通常の営業の形態として、3月以降に完成する業務の割合が大きいため、第1四半期における売上高が著しく少ない季節変動特性を有しております。

※2 助成金収入

前第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止への配慮から、当社グループは実施中の業務の一時中止や履行期間の延長の申出を行いました。

当該期間中に発生した従業員への休業手当等による損失に対応する助成金等を特別利益に計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年6月30日)

新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止への配慮から、当該期間中に発生した従業員への休業手当等による損失に対応する助成金等を特別利益に計上しております。

※3 臨時損失

前第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止への配慮から、当社グループは実施中の業務の一時中止や履行期間の延長の申出を行いました。

このため、当該期間中に発生した従業員への休業手当等を臨時損失として特別損失に計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年6月30日)

新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止への配慮から、当該期間中に発生した従業員への休業手当等を臨時損失として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インフラ・ マネジメン サービス	環境 マネジメン ト	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,621,633	8,440,192	1,099,928	47,161,755	—	47,161,755
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51,235	159,157	384,270	594,663	△594,663	—
計	37,672,869	8,599,350	1,484,199	47,756,419	△594,663	47,161,755
セグメント利益	1,979,592	244,776	121,709	2,346,078	△555	2,345,522

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,346,078
セグメント間取引消去	267,150
全社費用	△267,706
四半期連結損益計算書の営業利益	2,345,522

(注) 全社費用は報告セグメントに帰属しない費用であり、内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インフラ・ マネジメン サービス	環境 マネジメン ト	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,849,509	7,857,557	1,146,799	49,853,867	—	49,853,867
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,650	105,018	353,851	462,519	△462,519	—
計	40,853,159	7,962,575	1,500,651	50,316,386	△462,519	49,853,867
セグメント利益	2,330,480	227,977	157,243	2,715,702	35,989	2,751,691

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,715,702
セグメント間取引消去	310,892
全社費用	△274,903
四半期連結損益計算書の営業利益	2,751,691

(注) 全社費用は報告セグメントに帰属しない費用であり、内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。